

私の目標は、やはり、変わらなかった

三橋由佳（訪問看護認定看護師）

在宅で療養される方々のサポートだけでなく、そのご家族までサポートする、そして、地域を作っていくことを、実践している大先輩がいることは、聞き及んでいました。

なので、どうしても実習先を白十字にさせていただきたかったのです。

念願かなって訪問看護認定看護師の実習先となり、戸山ハイツの暮らしの保健室に、秋山さんが連れて行ってくださったことは、私が訪問看護を再学習した意味が一番ありました。

活動を間近に見ることで私の中のこんがらがっていた目標が、先が見えるようになってきました。その目標に近づくために、独立したい、そのために知っておきたいこと、知らないとならないことがまだまだあると思って、日々過ごしました。4年ほど前より、訪問看護ステーション管理者や地域の町会の役員なども縁があり、さあこれからと思っていたのですが・・・結局この年齢（60歳）になり、独立もできず鬱々としている現状は、秋山さんにお目にかかるのも恥ずかしい状況でした。やっぱり、才能や運がないんだろうな・・・と。

それでも、秋山さんの講義を再度拝聴したいと思ったのは、あの暮らしの保健室以後、どんなふうに秋山さんが事業を、人生を展開されているのかを、書物やマスメディアの情報だけでなく直接伺うことで、私の心が前を向くのではないかと思ったからでした。

講義に参加し、訪問看護師として、対人援助者として、人とのえにしを大切にできる、そういう方なのだと再認識しました。そして、才能も運もないけれども、私の目標は、やはり変わらなかったことだけは事実です。

これから先の人生、看護師としてだけでなく、地域の一住民として、できる事をさがしながら歩みたいと思いました。

このえにしに心から感謝申し上げます。